

船舶事故等調査報告書

平成23年11月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011横第154号	
事故等種類	衝突（岸壁）	
発生日時	平成23年4月3日（日） 12時57分ごろ	
発生場所	東京都御蔵島村御蔵島港岸壁 御蔵島港ふ頭灯台から真方位137° 120m付近 （概位 北緯33° 53.8′ 東経139° 35.3′）	
事故等調査の経過	平成23年8月25日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	貨客船 さるびあ丸、4,992トン 133817、東海汽船株式会社	
乗組員等に関する情報	船長、一級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	本船 右舷船尾ブルワーク凹損 岸壁 なし	
事故等の経過	本船は、船長ほか24人が乗り組み、旅客8人を乗せ、貨物約88tを積み、船首約5.20m、船尾約5.30mの喫水で御蔵島港岸壁の西側に右舷着けの着岸作業中、平成23年4月3日12時57分ごろ風潮流に圧流されて右舷船尾部が岸壁に衝突した。	
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北東、風力 5～6、視界 良好 海象：波高 約1m、潮汐 上げ潮の初期	
その他の事項	御蔵島港は、御蔵島の北西部に位置し、防波堤がなく、岸壁が北西に突き出しているために岸壁付近の潮流の流向及び流速の予知が難しかった。 岸壁付近の潮流は、本事故発生時、東流であった。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	なし なし あり 本船は、御蔵島港岸壁の西側に右舷着けの着岸作業中、風潮流によって圧流されたことから、右舷船尾部が同岸壁に衝突したものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、御蔵島港岸壁の西側に右舷着けの着岸作業中、風潮流によって圧流されたため、右舷船尾部が同岸壁に衝突したことにより発生したものと考えられる。	